

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年02月01日

計画の名称	可児市下水道整備計画（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	可児市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	636	A	636	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (R2末)
1	下水道による都市浸水対策の達成率を79%（H28）から80%（H32）に増加させる。			
	下水道による都市浸水対策達成率	79%	80%	80%
	浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	可児市	直接	可児市	管渠(雨水)	改築	下恵土第一雨水幹線整備 工事(浸水対策)	1800×2000 L=0.013km	可児市						6	-	
	A07-002	下水道	一般	可児市	直接	可児市	管渠(雨水)	改築	土田渡雨水幹線整備工事 (浸水対策)	1500×1500 L=0.22km	可児市						120	-	
	A07-003	下水道	一般	可児市	直接	可児市	管渠(雨水)	新設	中恵土雨水幹線整備工事 (浸水対策)	1400×1400 L=0.13km	可児市						230	-	
A07-004	下水道	一般	可児市	直接	可児市	管渠(雨水)	改築	花軒雨水幹線整備工事(浸水対策)	U1400×1400mm L=0.3km	可児市						60	-		
A07-005	下水道	一般	可児市	直接	可児市	管渠(雨水)	改築	川合南雨水幹線整備工事 (浸水対策)	U2300×2300 L=0.2km	可児市						50	-		
A07-006	下水道	一般	可児市	直接	可児市	管渠(雨水)	新設	土田渡雨水支線整備工事 (浸水対策)	HP 1000 L=0.3km	可児市						70	-		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	可児市	直接	可児市	管渠(雨水)	新設	下恵土宮瀬雨水支線整備 工事(浸水対策)	1500×1000 L=0.16km	可児市						100	-	
											小計						636		
											合計						636		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31(R1)			
配分額 (a)	10	25			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	10	25			
前年度からの繰越額 (d)	15	8.9			
支払済額 (e)	15	18.5			
翌年度繰越額 (f)	8.9	15.4			
うち未契約繰越額(g)	7	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	1	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	32.4	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	未契約繰越額はH30補正分であるため。				